

南串山地域審議会

提言書

平成21年8月19日

はじめに

雲仙市が誕生して、4年が過ぎようとしておりますが、雲仙市総合計画に掲げられております市の将来像と施策に基づき、雲仙市のまちづくりが着実に進められておりますことに、心から敬意を表します。

さて、私たち南串山地域審議会委員15人は、平成19年7月に市長から委嘱を受け、第2期南串山地域審議会として活動を開始しました。市の総合計画や地域振興計画、委員としての所管事務等について研修し、その責任を深く認識する中で、「地域審議会の設置に関する事項」第3条第2項の「審議会は、必要と認める事項について審議し、市長に意見を述べるができる。」を根拠として、市内全地域が等しく発展することを目指して、地域の課題を探り、提言書としてまとめ、市長に提言することを決定しました。

以来、定例会議を7回と臨時会議を3回開催し、様々な地域課題の一つひとつを市民の目線でしっかりと見つめ、現状と課題やその解決策について審議を重ね、このほど提言書としてまとめることができました。

本来、審議会としての提言は、中長期的な視点に立ってまとめるべきであると考えますが、現状を少しでも早く改善する必要がある事業、また、新規に実施していただきたい事業等があり、ここに本審議会として提言いたします。

平成21年8月19日

雲仙市長 奥村 慎太郎 様

南串山地域審議会会長 加藤孝明

目 次

ページ

1．産業振興について

- (1) 農業の振興について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 漁業の振興について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 商業の振興について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2．参加・協力が可能な「まちづくり」活動について

- (1) 健康づくり、地域づくり活動について・・・・・・・・ 2
- (2) 住民のニーズに合った講座開設について・・・・・・ 2

3．合併後の市政について、全市にかかわる提言

- (1) きれいな飲料水の確保について・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) 河川の維持管理について・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) 市道の整備について
 - () 門山付近道路の側溝拡幅工事について・・・・・・・・ 3
 - () 市道後山尾登線の改良舗装工事について・・・・・・ 4
 - () 京泊漁港に通じる大型車両通行可能な市道の整備について・・ 4
- (4) 道路整備について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (5) 防災行政無線放送による情報提供について・・・・ 4
- (6) 総合支所のあり方について・・・・・・・・・・・・・・ 4

南串山地域審議会提言書

1. 産業振興について

(1) 農業の振興について

現状と課題

本地域は農業が基幹産業の一つであり、棚田での水稻栽培や丘陵斜面に広がる棚畑での馬鈴薯やレタス等の路地野菜栽培が盛んに行われている。農家においては農業後継者が確保され、また、新規就農者も育成されるなど専業農家率も高く、経営規模も少しずつ拡大されてきている。

しかし、農業従事者の高齢化や繁忙期の人手不足、丘陵地における基盤整備の遅れ、馬鈴薯、レタス等の農作物の価格低迷、肥料や資材等の価格高騰、飲料水や畑灌用地下水の汚染、イノシシ被害等の課題も多い。

解決策

本地域の農業振興策として、農業における労働時間の短縮、意欲・活力ある担い手の育成を目指し、農業の効率化と生産基盤の整備、農地の集約化及び機械導入による効率的利用を推進すると共に、特産品である馬鈴薯やレタス等の路地野菜栽培を中心とした環境保全型農業の振興、生産性の向上と収益の増大を図るために、市として次の事業を行い、支援する。

路地野菜対策として資材（タフベル）購入への支援
カット工場を新設し、規格外野菜の有効活用を図る。
繁忙期の農作業等労務確保策（人材センターの設置等）
イノシシ対策（捕獲体制の強化、罟講習会の開催等）

(2) 漁業の振興について

現状と課題

本地域は漁業が基幹産業の一つであり、東シナ海や三陸沖、北海道沖まで出漁し、大目流し網漁業が行われ、また、橘湾では刺し網漁業や栽培漁業が盛んである。

しかし、最近では、市場等でも価格が低迷し、橘湾沿岸の磯やけ等自然環境の変化による漁獲量の減少、赤潮被害なども課題となっている。その他、大雨の際、河川を通じ漁港へ流入し堆積した土砂の浚渫問題や廃ビニール等ゴミの不法投棄による漁業への影響が懸念される。

解決策

本地域の漁業振興策として、橘湾の内水面漁業・養殖漁業における生産性の向上と収益の増大、地域資源を活かした1.5次産業化への展開の推進等を目指して、市として次の事業を行い、支援する。

赤潮被害に対する支援
土砂の浚渫整備
藻の増殖の推進（食物連鎖を考え）
養殖漁業を含めた資源管理型漁業の振興
煮干やエタリの塩辛等加工品の商品開発、特産品としてのPR、販路拡大

(3) 商業の振興について

現状と課題

本地域には、大きな店舗もなく、各商店の顧客としては地元の人がほとんどであるが、他地域の大型商業施設への顧客の流失や、近年の農漁業における農海産物の価格低迷により購買力が低下し、各商店の売り上げも落ちている。

解決策

本地域の商業の活性化を目的に、市として次の事業を行い、支援する。
地域の購買力増大を目的に、基幹産業の農漁業における農海産物のPRや販路拡大を推進する。
地域内商品券が全世帯に行き渡るように常時発行を行い、地域内消費の拡大を推進する。

2. 参加・協力が可能な「まちづくり」活動について

(1) 健康づくり、地域づくり活動について

現状と課題

本地域では、地域住民の健康増進等を目的に、各地域に運動広場が整備されイベント等が開催されてきたが、少子高齢化等により人口減少が進み、地域リーダーが育成されず、運動広場を活用しなくなった。

また、運動広場の維持管理は、現在、市から業者に委託されているが、管理が行き届いていない状況である。

解決策

本地域の健康づくり、地域づくり活動の活性化策として、市として次の事業を行い、支援する。

スポーツ施設の整備（施設の不足）、総合支所への窓口対応ができる職員の配置

これまで開催されてきたイベント等を復活開催し、地域住民の交流機会を増やす。

強力な地域リーダーの育成による地域づくりの推進

（市民スポーツ大会が開催されない年度において、地域主催の運動会を開催し、地域住民の親睦融和を図る。また、各小学校運動会に地域住民も参加し地域づくりに繋げる。）

各地域の運動広場の維持管理は、市から地域が受託し、管理する。

(2) 住民のニーズに合った講座開設について

現状と課題

本地域では、住民ニーズが高く合併前まで開催されていた水泳教室が、合併後は開催されなくなった。水泳教室を含めてニーズの高い教室や講座等は、積極的に開催するべきだとの住民からの声が多い。また、教室や講座等を開催する場合、市教育委員会としては、スポーツ教室等は体育協会に、文化講座等は文化協会に委託しているようだが、そのことが住民にはよく周知されていないのではないか。

解決策

本地域の住民ニーズに合った講座等の開設を目的に、市として次の事業を行い、支援する。

経験豊富な指導者の活用、各種講座等の開催

指導者養成講座や研修会の開催による指導者の登録、確保

窓口対応のできる職員の配置

3. 合併後の市政について、全市にかかわる提言

(1) きれいな飲料水の確保について

現状と課題

本地域の京泊地区の地下水が硝酸性窒素等により水質が悪化していると聞き、飲料水として使用して大丈夫なのか心配である。市として、地域住民が安心して使うことができる飲料水の確保と供給をお願いしたい。

解決策

市として、地域住民が常に安心して使用することができる飲料水の確保と供給を目指して、長期的な視点に立って次の事業を行い、水道管理に努める。

硝酸性窒素等の除去装置の設置拡大
水質検査の徹底
他地域からの取水

(2) 河川の維持管理について

現状と課題

本地域の河川は全てコンクリートによる三面張りであり、河川の自然浄化作用はほとんどない。雨は、河川を通じてそのまま海へと流れて出てしまい、以前、川に棲んでいた生物等は、現代は全く棲めなくなっている。このため、生物観察の場が奪われ、ビオトープ等生物観察用の水路や湿地帯等を、小学校内に設けなければならない状況にある。また、河川は少雨でも直ぐに増水してしまい、防災上危険であると同時に、漁港への土砂の流入堆積による浚渫問題の要因にもなっている。

解決策

本地域の河川を生物が棲むことができる河川にすることや防災機能を高める対策として、市として次の事業を行い、支援する。

今後、護岸等の河川改修を行う場合は、穴空きブロック等を活用する。
環境意識の高揚や環境教育を行うために、ビオトープや河川公園を整備する。
河川が増水対策と漁港の浚渫対策として、土砂止め砂防施設を整備する。

(3) 市道の整備について

() 門山付近道路の側溝拡幅工事について

現状と課題

本地域の門山付近（楽常寺山門前～門山住宅）では、降雨の度に檜峰方面や天満宮から流れ下る水により道路は冠水する。また、少量の雨でも側溝から水が噴き出し、沿道の家屋は度々床下浸水被害に見舞われる。大雨の際は、門山住宅敷地内にも流れ込み、危険である。

解決策

本地域の門山住宅付近の水害を防ぐことを目的に、市として次の事業を行い、支援する。

門山付近道路の側溝拡幅工事を行うと共に、道路を横断する暗渠を整備し、排水路を確保する。

() 市道後山尾登線の改良舗装工事について

現状と課題

本地域の市道後山尾登線の後山方面からの道路が未整備である。梅雨期でも安心して通行できるように、速やかに改良拡幅工事を行うべきである。

解決策

本地域の交通アクセス利便性向上を目指し、市として市道後山尾登線の改良舗装工事を計画的に実施する。

() 京泊漁港に通じる大型車両通行可能な市道の整備について

現状と課題

現在、京泊漁港に通じる市道は狭隘で、大型車両等が通行できない状況であり、大変不便である。

解決策

市として、京泊漁港に通じる市道の改良拡幅工事を早急に実施し、大型車両等が通行できるように整備する。

(4) 道路整備について

現状と課題

本地域から愛野方面に行く場合、小浜愛野間で途中一箇所でも崖崩れ等が発生すると、本地域は孤立してしまう。本地域住民の生活道路確保策として、愛野小浜バイパスを早急に整備する必要がある。

解決策

国道57号の小浜～愛野間の迂回路として、愛野小浜バイパスの整備促進を早急に進めるために、市として次の事業を行い、支援する。

グリーンロードから小浜地域の山領地区を通して、千々石地域の木場地区に繋ぐルートを開設し、国道57号のバイパス化を図る。

南串山～愛野間のグリーンロードの早期完成

(5) 防災行政無線放送による情報提供について

現状と課題

「県下一斉清掃」についての周知放送を、旧町単位で放送されたと聞くと、もっと周知すべきではないか。

解決策

防災行政無線放送のあり方について再検討し、放送が簡単にできるように手続きを簡素化する。

(6) 総合支所のあり方について

現状と課題

本地域の総合支所の職員数では、市民の立場に立った行政サービスは行われず、逆にサービスは低下していると思われる。

解決策

総合支所としてきめ細かな行政サービスを行うためには、市として職員数をこれ以上減らすべきではない。